

## V 特別支援教育研究連合 各エリア部会

「この研究は公益財団法人日本教育公務員弘済会  
宮崎支部からの助成金を受けて行っています」

## 宮崎・東諸県エリア部会

### 1 研究主題（テーマ）

「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

### 2 主な研究・活動の内容

(1) 組織 ～ 宮崎地区特別支援教育研究会と東諸県地区特別支援教育研究会、宮崎市内の特別支援学校5校（明星視覚支援、赤江まつばら、みやざき中央、みなみのかぜ、清武せいりゅう）

(2) 活動内容

期 日	事業名	活動の内容	会 場
7月5日（火）	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第1回役員会	・令和3年度の活動報告 ・令和4年度の計画・予算検討	各学校 （ZOOMによるオンライン開催）
10月3日（月）	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第2回役員会	・研修会の細案検討等	各学校 （ZOOMによるオンライン開催）
11月25日（金） *12月2日から 12月23日までの オンデマンド配信 に変更	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会第1回研修会	・宮崎市学校教育研究会との合同研修会	県立明星視覚支援学校 （オンデマンド配信に変更）
2月予定	◆県特研連宮崎エリア部会 第3回役員会	・年間計画反省、事業・会計報告作成確認 ・次年度役員・役割分担等確認、事業計画案作成 *（宮崎市特別支援教育研究部会第3回理事会後に実施）	大宮中学校予定

### 3 成果と課題

本年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響のために、なかなか思うような活動ができなかった。役員会はZOOMによるオンライン開催、活動の中心となる研修会もオンデマンド配信となった。

役員会では、昨年度から新しい役員組織と役割分担のローテーションが始まったので、その確認を行い、規約等の確認、変更を行った。

本年度の研修会は、急遽オンデマンド配信になった。参加者の都合の良い日時で視聴でき、参加予定ではなかった方々も視聴できるという点では良かった。しかし、宮崎市内の小中学校では、制限がかかっており、そのままでは視聴できなかつたり、アンケートに答えられなかつたりする状況があった。事前の確認が必要だった。次年度の研修会は、南部②小学校が担当校になる。

## 日南・串間エリア部会

### 1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するための専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実

### 2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所
5月10日	○ 第1回日南・串間エリア部会役員会 ・ 総会、研修会について ・ 昨年度事業報告 ・ 今年度事業計画及び予算案について	有明 小学校
6月27日	○ 第2回日南・串間エリア部会役員会 ・ 令和4年度日南・串間エリア部会について ・ 主な事業内容について ・ 今年度の日南・串間エリア部会総会について	南郷 小学校
7月26日	○ 令和4年度日南・串間エリア部会総会、研修会 ・ 日南・串間エリア部会総会 ・ 研修会（講演会）※ ZOOMによる研修 演題 「自立活動の授業づくりについて」 講師 都城市立西小学校 石本 隆士 指導教諭	有明小学 校及び各 学校
7月～3月	特別支援教育研修として動画視聴 演題 改めて「発達障がい」とは何か考える 講師 本田 秀夫 氏	各学校
11月10日	○ 第3回日南・串間エリア部会役員会 ・ 研修会アンケート結果について ・ 教材購入について ・ 研修費の受領	日南くろ しお支援 学校
2月16日	○ 第4回日南・串間エリア部会役員会 ・ 活動内容、会誌、会計報告 ・ 令和5年度日南・串間エリア部会の活動について	有明 小学校

### 3 本エリア部会の成果と課題

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会及び研修会はZOOMでの開催にした。研修会では、都城市立西小学校の石本先生による「自立活動の授業づくりについて」の講演を行い、好評を得た。また、本田秀夫氏による『改めて「発達障がい」とは何か考える』の動画を各学校で視聴し研修を行った。日々の授業については、これまでに作成してきた教材活用集を活用しながら授業づくりや生活指導に役立てることができた。

課題としては、実際の授業を見たいという意見が多くあがった。授業づくりに悩む会員が多いことから、次年度は項目ごとに分けてLIVEによる授業研修が行えるようにしていきたい。

## 西都・児湯エリア部会

### 1 研究主題

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

### 2 活動内容

#### (1) 活動内容

- 役員会（年2回）運営及び会計業務
- 令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会（西都・児湯エリア部会研究会）  
計画、検討、準備

#### (2) 活動計画

月	日	会議及び活動内容		県特研連関係
3	29		・事務局引継ぎ	
4	下旬		・第1回役員会の内容検討	・第1回理事会及び代議員会（総会）
5	30			
5	26	第1回役員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度役員の確認</li> <li>・令和3年度事業報告、収支決算報告</li> <li>・部会会則及び部会の運営に関する確認</li> <li>・令和4年度事業計画、収支予算案審議</li> <li>・令和4年度研究大会に関する検討</li> </ul>	
7	6		・接続テスト	
7	29		・西都・児湯エリア部会研究大会(研究大会兼)	・第24回宮崎県特別支援教育研究連合研究大会 講演「次への意欲につなげるために」香川大学 坂井聡氏
9			・アンケート集計及び課題の検討	
12	下旬		・令和4年度収支決算・会計監査	
1	24			・第2回事務局会
2	9	第2回役員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告、収支決算報告審議</li> <li>・令和5年度事業計画案、収支予算案審議</li> <li>・西都・児湯エリア部会の運営に関する検討</li> <li>・令和5年度役員の確認</li> <li>・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会課題まとめ</li> </ul>	
2	21			・第3回事務局会及び事務局連絡会

### 3 エリア部会の成果と課題

3年ぶりの開催となった、研究大会全体会の企画・運営等が主な業務となった。

西都・児湯エリア部会は、研究大会への参加を研究大会と兼ねる形で行った。

まず、成果である。

参加人数であるが、当日申し込み人数が800名を超え、後日オンデマンド配信分の視聴者（再生回数）が約400回であった。

そのうち、西都・児湯エリア部会の参加人数が当日110名であった。オンデマンド配信分については地域の特定ができないが、後日視聴した旨も聴いており、当日参加できなかった方が視聴したことがわかる。遠方であったり、当日参加ができない方々が研修の機会を得られるというのは、オンライン開催の大きな成果であると言える。

次に課題である。

まずは、準備について、チームで進めて行くことが難しかった点である。

昨年度実行委員会としてエリアの各市町村代表と会議を実施したが、準備が予定通りに進まずに意見交換のみで終わった。今年度についても各市町村代表をあげていただいたが、参集して作業する機会がもちづらかったため、必要に応じて作業を割り振る形をとった。会場参集型の企画・運営と異なり、事務作業が主になったため、情報関係、会計関係含め、ほぼ事務局校〔児湯るびなす支援学校〕で準備を進めることとなった。

案内配布についても、小・中学校の校務支援システムC4thを活用する予定であったが、学校によっては行き渡っていない、活用できていない状況があるとのことだったため、確実に情報が渡るよう本校から手作業で行った。

アンケートの内容検討及び作成については、エリアの代表の方々に準備していただくことができた。

県立学校ではミライムを活用してデータのやり取りが可能であるが、小・中学校とは電話、FAX、代表メールを通してのやりとりが主になる。その点が改善されれば、準備段階からエリアの役員や実行委員の方々と協力しながら作業を進められると思う。

二点目はオンラインだからこその、機器トラブル等への対応である。

今後、研究大会も形を変え、オンラインで行う機会も増えていくと思う。来年度についても、状況によってはオンラインでの実施となるかも知れない。今回は一部音声の聴き取りづらさや、動画の共有場面でスムーズにいかないことがあったが、当日急なアクシデントは予想しがたいものがある。一部部会では専門業者に依頼していたが、予算面で不都合がなければ、機器関係については業者委託するのも良いと思われる。

三点目、これまで行われていた教材展等ができなかったことである。

小・中学校からのニーズとして、教材や教具の紹介が望まれていた。今回の研究大会では会場を設けないこともあって実施しなかった。オンライン開催の際の実施の在り方については、検討が必要だと思われる。

研究大会だけに限らず、役員会等の会議もあり方が変わっていく中ではあるが、そのメリットを大きく活用しながら、今の時代だからこそできるあり方を模索し、設定できていくと良い。課題について次年度にしっかり引き継いで、西都・児湯エリア部会が充実していくようにしたいと思う。

## 都北エリア部会

### 1 研究主題（テーマ）

「小中学校における実態に応じた指導はどうあればよいか」

### 2 活動報告

#### （1）年間活動報告

月	日	会の内容	場所
5		○ 支援学級の調査（事務局）	都城市立山之口小学校
6	17（金）	○ 事務局・役員会 ① 令和4年度総会資料（紙上開催）について ② 各地区役員引き継ぎ ③ 事業計画 ・夏季研修会	都城市立小松原中学校
8	22（月）	○ 役員会	都城市立小松原中学校
11	18（金）	○ 授業事前研究	都城市立山之口小学校
	30（水）	○ 授業研究会 ○ 実践報告集の製本・発行	
1	19（木） ～	○ 合同作品展前日準備	ウェルネス交流プラザ 茶霧茶霧ギャラリー
	23（月）	○ 合同作品展・作品撤去	
2		○ 第2回理事会・事務局会 ・年間活動の反省及び次年度に向けての協議	都城市立小松原中学校

### 3 主な研究成果と課題

#### （1）成果

- 一昨年からのコロナ禍の影響があったが、感染拡大に気を付けながら市町合同の研究会を開催できた。
- 授業研究会を開催にあたり、夏休みの検討会や事前研修会を行い、先生方の意見をいただき授業改善を行うことができた。
- 授業研究会後の協議では、小・中学校と障がい種別に分かれて、生活単元や自立活動などの学習の進め方などについて意見交換を行うことができた。
- さまざまな会を開くにあたり、人を集めての開催が難しかったが、少人数での事前打ち合わせなどをして、会を実施することができた。
- 開催に当たり、それぞれの先生方が責任を持って仕事をしてくださり、連携して仕事を行うことができた。

#### （2）課題

- コロナ禍のタイミングもあり、夏季研修を実施できなかった。
- さまざまな児童、生徒の困り感に対して、情報交換ができ、指導や対応の仕方などに関する講演会や研修会をしなくてはいけないと感じた。
- 最初の総会が開催できず、細かな打ち合わせなどを部会ごとにしておくと、1年間の見通しや引継ぎなどがうまくできたと思う。来年度は、感染状況を見ながら、また万全の感染対策を講じて、対面での引継ぎを実施したい。

## 小林・西諸県エリア部会

### 1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

### 2 活動内容

期日（曜日）	事業内容	場 所
4月21日（金）  <b>中止</b>  総会資料送付	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回研修会（総会）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画案及び予算案審議</li> <li>・ 役員選出（西諸特研役員・運動会実行委員）</li> </ul> </li> <li>○ 合同運動会打ち合わせ</li> <li>○ 引継ぎ</li> </ul>	小林中央公民館
6月6日（月）	○ 合同運動会前日準備 → 中止	小林市立体育館
6月7日（火）	○ 合同運動会 → 中止	小林市立体育館
7月8日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回役員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画確認</li> <li>・ 第1回役員会</li> </ul> </li> </ul>	永久津小学校
9月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回役員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育講演会の役割分担、準備</li> </ul> </li> </ul>	永久津小学校
12月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育講演会</li> </ul> </li> </ul>	小林中央公民館
1月12日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3回役員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回研修会の役割分担、準備</li> </ul> </li> </ul>	永久津小学校
2月6日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3回研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会（全体⇒分科会）</li> </ul> </li> </ul>	小林中央公民館
3月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4回役員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度反省並びに次年度計画案検討</li> </ul> </li> </ul>	永久津小学校

### 3 本ブロック会の成果と課題

#### (1) 成果

- 12月19日（月）に、教育講演会を行った。講師には、小林市立病院小児科の中田雅之先生にお願いした。演題は、「きれいな子どもたち」とし、何らかの障がいを抱えている子どもや発達障がいと診断された子どもたちにどう対応していけばいいのかが、具多的な例を出しながら分かりやすく話をしていただいた。また、特別支援担当の先生方から事前にとったアンケートにも時間が許す限り丁寧に答えていただいた。質疑応答では、数人の先生方から質問や相談事などが出され、とても有意義な時間となった。

#### (2) 課題

- 子どもたちが楽しみにしていた合同運動会も、コロナ感染防止のために中止となった。合同運動会は、目的である交流と親睦を深めるための活動であるが、他校との友だちとの交流を3回も中止にしているため、今後どのような形で実施していけばいいのかが課題である。コロナ感染防止のために合同運動会の中止が続くのであれば、運動会の在り方を工夫したりそれに代わる新しい行事を考える必要がある。できれば、ICTを活用した交流や行事ができるような催しが実施できればいいと思う。

## 日向・東臼杵エリア部会

### 1 研究主題（テーマ） 「教育的ニーズに応える特別支援教育の推進」

### 2 活動内容

#### (1) 組織

日向・東臼杵地区（日向、門川、入郷）小・中学校の学校長及び特別支援学級職員の会員  
日向ひまわり支援学校長及び職員

#### (2) 年間活動報告

期日	事業名	活動の内容	会場（方法）
7月29日（金）	県特研連研究大会（併催） （エリア部会合同研修①）	午前の部：講演 午後の部：障害種別分科会	オンデマンド 配信視聴
8月19日（金）	総会・代議員会	令和3年度事業報告 令和3年度決算報告・監査報告 令和4年度事業計画案 令和4年度予算案 県特研連組織、エリア部会規約他	オンライン実施 日向ひまわり （ホスト）
9月30日（金） から配信	エリア部会合同研修②	「学級経営エトセトラ」 主に教育課程に関することや授業 の実際、教材教具などを紹介	教育研修センター インターネットe-研修 配信
1月13日（金）	エリア部会合同研修③	「スキルUP！」 全国の研究公開や研修、資料や文 献の紹介等	電子メール 校務支援システム
1月27日（金） ） 2月3日（金）	なかよしアート展 （エリア部会共催事業）	日向地区特別支援教育研究会 日向・東臼杵エリア部会 合同作品展（共催事業として実施）	日向市 中央公民館
3月	第2回代議員会	令和4年度事業報告 令和4年度決算報告 本年度の反省及び次年度活動計画	オンライン実施 日向ひまわり （ホスト）

### 3 本エリア部会の成果と課題

昨年度末のエリア会員向けのアンケート結果を活かし、会員の専門性の向上とエリア各校の特別支援教育の推進を図るため、基本的な内容に焦点化した動画の配信及び学べる機会と情報を提供する資料配布を行った。

オンラインでの代議員会（役員会）開催、「教育研修センターインターネットでe-研修」での動画配信、県立学校と小中学校を結ぶ電子メールとエリア小中学校を繋ぐ校務支援システム等、整備された環境を活用することでアフターコロナにおける研修内容や方法を工夫しながら活動を行うことができた。



## 延岡・西臼杵エリア部会

### 1 研究主題（テーマ）

児童生徒の生きる力を育む指導の在り方  
～教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について～

### 2 活動内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組んだ。

期 日	事 業 名	主な内容
6月 6日（月）	第1回事務局会	・令和3年度の事業報告、決算報告 ・令和4年度活動方針・事業計画、予算案について ・総会、夏季研修会について
7月29日（金）	宮崎県特別支援教育 研究連合研究大会 （大会併催）	・総会については、総会議案を各学校に配布し、 FAX返信による書面議決とした（7月22日 締め切り）
10月13日（木）	合同作品展 運営委員会①	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・役割分担の確認等
11月24日（木）	合同作品展 実行委員会①	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担・係の内容の確認など ・研修内容の検討
1月19日（木）	合同作品展 運営委員会②	・作品展開催の準備等
1月28（土） ～30日（月）	合同作品展	・各学校の幼児児童生徒の作品展
1月30日（月）	合同作品展 反省会	・係からの反省 ・次年度に向けて
2月下旬～3月上旬	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継事項の確認

### 3 本エリア部会の成果と課題

本年度の総会は、上記「活動内容」にある通り、部会所属校に総会議案を事前配布し、書面議決をとる形で成立させることとなった。夏季研修会については、宮崎県特別支援教育研究連合研究大会に参加することで、エリアの研修として併催させていただいた。当日、延岡市の小中学校は1学期終業式と重なり、午後からの参加が多かった。

合同作品展は、例年延岡市内の会場において実施されており、約500名の来場者がある地域に根ざした取組である。今年度は、カルチャープラザのべおかを会場とし、部会所属校に在籍する幼児児童生徒が製作した作品を3日間に渡って展示する予定である。3年ぶりの作品展となるので、コロナウイルス感染予防を徹底した上で実施したいと考えている。

エリア部会としては、コロナウイルス感染症の感染状況を常に把握し、感染対策の在り方について他県や他研究会の実施態勢に鑑みながら、企画・運営に取り組んだ。今後も夏季研修会や合同作品展等の実施内容及び実施態勢について、時代の動きを把握しながら、延岡・西臼杵エリアの特別支援教育の推進に寄与できるよう努めていきたい。